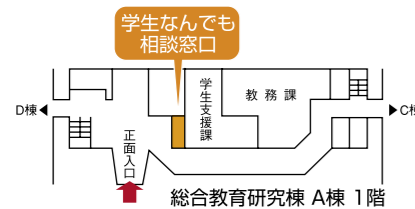


# 学生なんでも相談窓口

学生のみなさんの学業、進路、人生、対人関係、家庭、経済等の問題で悩みや困りごとについての相談に応じられるように「学生なんでも相談窓口」を設置しています。ひとりで悩まず気軽に相談に来てください。相談は、電話、電子メールあるいは直接窓口で受け付けます。



- 受付時間 ● 8:30~17:15
- 電話 ● 025-262-7524
- メールアドレス ● gakumado@adm.niigata-u.ac.jp
- 場所 ● 総合教育研究棟 A棟 1階 学務部学生支援課内

## 学外の相談機関

- |  |  |   |
|--|--|---|
| <p><b>犯罪被害等に関する相談</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●新潟県警察本部けいさつ相談室<br/>TEL. 025-283-9110<br/>警察業務に関する相談、要望、苦情など全般</li> <li>●犯罪被害者対策室<br/>TEL. 025-285-0110<br/>犯罪被害に関する相談全般</li> <li>●女性被害110番<br/>TEL. 025-281-7890<br/>性犯罪の被害に関する相談</li> </ul> | <p><b>CREDIT CARDS カードに関する相談</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●日本クレジットカード協会<br/>TEL. 03-5563-6526</li> </ul> | <p><b>人権相談、性別による差別的取扱い等に関する相談</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●新潟地方法務局 人権擁護課<br/>TEL. 025-222-1564</li> <li>●新潟県男女平等推進相談室<br/>TEL. 025-285-6605</li> </ul> |
| <p><b>悪質商法による被害の相談</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●新潟県消費生活センター<br/>TEL. 025-285-4196</li> <li>●新潟市消費生活センター<br/>TEL. 025-228-8100</li> </ul>  | <p><b>交通事故に起因する諸問題に関する相談</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●新潟県交通事故相談所<br/>TEL. 025-280-5750</li> </ul>       | <p><b>休日診療</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●新潟市急患診療センター<br/>TEL. 025-232-1199</li> <li>●新潟県歯科医師会 休日急患歯科診療センター<br/>TEL. 025-283-3030</li> </ul>             |
| <p><b>心の健康に関する相談</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●新潟県精神保健福祉センター<br/>TEL. 025-280-0113</li> <li>●新潟いのちの電話(心配事相談)<br/>TEL. 025-288-4343</li> </ul>  |  |   |

- 北陸ガス TEL. 025-228-2131
- 東北電力(引越時) TEL. 0120-175-226
- 新潟市水道局 TEL. 0120-411-002

<p><b>広報委員会第1部会</b> 部長・編集委員長 石坂妙子(教育学部) ishizaka@ed.</p> <p>委員 田中拓道(法学部) takujit@jura.</p>	<p>芳賀健一(経済学部) haga@econ.</p> <p>竹内照雄(理学部) takeuchi@math.sc.</p> <p>柴田 実(医学部医学科) mshibata@med.</p> <p>五十嵐敦子(歯学部) atsuko@dent.</p>	<p>加藤大介(工学部) dkato@eng.</p> <p>末吉 邦(農学部) sueyoshi@agr.</p> <p>井村哲郎(大学院現代社会文化研究科) imurat@human.</p> <p>寺尾 仁(大学院自然科学研究科) terao@eng.</p>	<p>横山峯介(脳研究所) myoko@bri.</p> <p>田口 洋(大学院医歯学総合研究科) yo@dent.</p> <p>馬淵憲治(学務部長) kmab@adm.</p> <p>事務局(学務部) TEL 262-6309 FAX 262-6304 E-mailのアドレスは、 niigata-u.ac.jpの標記を省略しています。</p>
--	--	---	--

■新潟大学ホームページ <http://www.niigata-u.ac.jp/>

■新大広報 Back Number [http://www.niigata-u.ac.jp/gakugai/pr/c\\_forum/](http://www.niigata-u.ac.jp/gakugai/pr/c_forum/)  
新大広報のバックナンバーは上記のURLから見る事ができます。また、学務部学生支援課で受け取ることもできます。

新潟大学広報誌 **Niigata University Campus Magazine** 2008 春号 No.168

編集・発行/新潟大学広報委員会・新潟大学学務部 印刷/第一印刷所

新潟大学広報誌

新大広報



# Niigata University Campus Magazine

2008年春号  
**No.168**



## 特集 新生活 ウェルカムメッセージ

- CAMPUS GUIDE
- 健康コラム  
「眠れない、落ちつかない、やる気が出ない」どこに相談すればいい?
- CAMPUS INFORMATION  
第49回黎明祭
- shindai NEWS  
学務部からのお知らせ
- キャンパス周辺MAP
- 学生なんでも相談窓口





# 旭町 キャンパス

Asahimachi Campus

新潟市中心部に位置する、  
歴史あるキャンパス。



医歯学総合病院が隣接し、  
教育・研究・診療が一体となっている。



① 教育学部附属学校



② 歯学部



③ 医歯学総合病院歯科診療棟



④ 旭町キャンパスの名物となっている桜は、  
学生たちをはじめ多くの市民に春の訪れを告げる。



⑤ 医歯学総合病院医科診療棟



⑥ 医聖ヒポクラテスを記念した  
ヒポクラテスの木。



⑦ 医学部医学科



⑧ あさひまち展示館



⑨ 新潟師範学校跡の碑



⑩ 医学部保健学科

# 新生活 ウェルカムメッセージ

## 春から大学生になった1年生の皆さんへ

法学部法学科 井上 貴央

新入生の皆さんご入学おめでとうございます。春から大学生としての新しい生活が始まり、多少の戸惑いがあるながらも、大学生になった喜びを噛み締めていることではないでしょうか。皆さんもすでに実感しているかと思いますが、大学生活は高校生活と比べて行動範囲が格段に広くなり、時間の使い方も自分で決めることができるので、自分の好きなことを自由に行うことができます。勉強に打ち込むのも良いですし、バイトや部活、サークルなどに力を注ぐのも良いと思います。極端な話、学校に行かないで自分の好きなことをするのも可能です。ただ注意して欲しいのは、大学の講義は高校の授業に比べて専門的ではあるかにレベルが高いということです。試験も、講義で話した内容は全て理解していることを前提に、論理的な回答を求められる場合が多いので、講義にしっかり出席しないと単位を落としてしまうこともあります。また、充実した大学生活を送るためには仲の良い友人を作ることが大切だと思います。一緒に講義を受けたり、飲みに行ったりする仲間がいれば、よりいっそう楽しい生活が送れるはずですよ。しかし、大学の講義

というものは基本的に大人数の講義室で

行われ、同学年、同学科の学生といっても、高校の時のようなクラスメイトといった感覚ではありません(あくまで法学部での話ですが…)。ですので、簡単に友人を作るためにも部活やサークルに所属することをお勧めします。私は現在、『法律相談部』、『法学ゼミナール協議会』、バスケサークル『O.F.F』といった団体に所属していますが、大学でできた友人の多くが、部活やサークルで仲良くなった人たちで、大学生活を送るにあたって欠かせない存在になっています。みなさんはまだ大学に入ったばかりで、仲の良い友人が少なく不安に思っているかもしれませんが、これからたくさんの気の許せる仲間ができるはずですよ。そういった仲間と精一杯大学生活の4年間を楽しんでください。



1 部活の友達が4月から留学するので、その送別会(居酒屋)  
2 勉強会の風景  
3 法律相談会本番終了後の集合写真

新潟大学に入学されたみなさんへ、  
充実した学生生活を送っている先輩たちから  
応援メッセージを贈ります。

## 新入生の皆さんへ

医学部医学科 金子 夏美

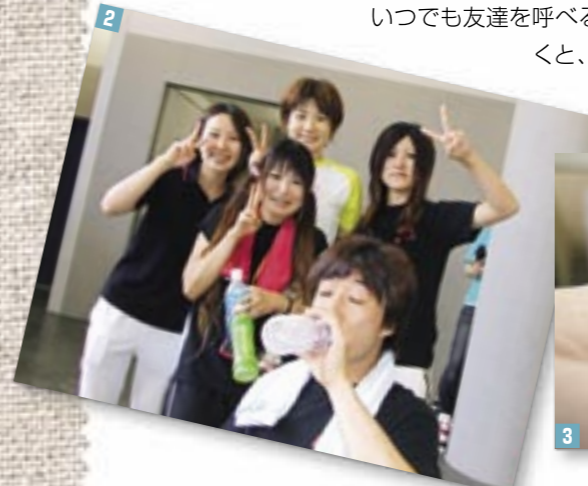
新入生のみなさん、入学おめでとうございます☺ 私は長岡生まれの広島育ち、尊敬する人はガンジーであることで有名な金子です。私が入学した頃はとても無口で暗い女の子だったのですが、ならぬことはならぬものですよという掟を守って過ごしているうちに友達がたくさんできました。よってこうすればより豊かな学生生活を築いていけるのではないかと私が思うことを伝えます。まずみなさんにとっておきたいことは、大学生活は人間関係を形成する場であること、受身の姿勢ではイベントがあまり起こらないということです。ひきこもるのはやめて友達と遊びなさい。先輩に飲みに誘われたら行きなさい。多くの先輩は面白いので、仲良くするべきだと母も言っています。

具体的にはどうするといいか私なりの意見を述べたいと思います。まずは、部屋を明るく綺麗にすることです。いつでも友達を呼べる部屋にしておくと、なんだか気持ちよく生活できます。



次に、アルバイトやサークルをすることです。アルバイトして大学の外にも友達をつくりましょう。居酒屋や飲食店など、声をだしたり笑顔にならなきゃいけないものをお勧めします。いつも笑顔でいるとなんだかしあわせです。また、部活やサークルに入り大学で横と縦のつながりを持ちましょう。私自身は医学部女子バレーボール部のマネージャーをしています。マネージャーが一人しかいないので誰か興味のある人は来てください。最後に、おしゃれをすることです。お気に入りの服や靴や鞄をもって出かけるとなんだかウキウキします。勉強もしなきゃなのにこんなにいろいろできないぜと思う方もいると思いますが、大丈夫です、意外と何でもできます。まずはやってみましょう。

偉そうにいろいろ言ってしまいましたが、最後まで読んでくださり有難うございました。皆さんの大学生活が充実したものになることを祈っています。



1 第50回東日本医科学生体育大会の時の医学部女子排球部の集合写真。前列が防衛医大のバレー部の方々と、後列が新潟大学です。  
2 医学部女子排球部の仲間たちと、体育館にて。手前にいらっしゃるのがコーチです。  
3 実習でお世話になった動物資源開発研究分野にて。胚操作で作成したキメラマウスの赤ちゃんです。かわいいです。奥でピンボケしているのが私とお友達(学生)です。

# 新生活 ウェルカムメッセージ

## 勇気を出して新しいことを

工学部建設学科 鈴木強志 (平成20年3月卒業)

卒業間際にこの原稿を依頼されたので、これを読んでいる新入学生の皆さんは私と入れ替わりで新潟大学に在籍することになります。まだ四年間も大学生活が残っているなんて、羨ましい限りです。というのは、大学に入ってから四年間、本当に楽しいことばかりだったからです。おそらく多くの人にとって、大学生活が楽しくなるとは思いますが、それには欠かせない要素があると私は考えています。新入学生にメッセージを、ということなので、その要素とは何かについてこの場で書いてみようと思います。

大学生活では、サークルや学科の友人だけでなく、住んでいた学生寮やアルバイト先の人たちなど、本当に数えきれないくらいの人たちと交流があり、とても多くの人たちと仲良くなることができました。仲良くなった人に影響されて、たくさんの本を読むようになったり短期留学をしたりと、かけがえのない経験もありました。何が大切かという、まず第一に交流なのだと思います。

私の大学生活の中では二つの大きな分岐点がありました。たくさんの本を読

むようになったこと、北京に短期留学をしたことです。どちらも、尊敬する先輩から勧められて始めたことでしたが、その先輩との交流による自分の考え方の変化がなければどちらもとても実現していなかったと思います。この二つから新たな交流も生まれましたが、私にとって将来にもつながる重要な経験だったと考えています。

私が新入学生に伝えたいのは、悔いのない大学生活を過ごしてほしいということです。大学生活にはあらゆる可能性が秘められており、勇気を出して新しい経験をするには若い人たちには特に重要です。そして、そういう経験をどこですればいいかわからないという人たちは、是非とも我が榑谷研究室に来て下さい。新しい経験は、ここならきっと体験できます。

それでは皆さん、これから存分に自分の大学生活を楽しんでください。

- 1 短期留学(北京サマーセミナー)のクラスメイトと天安門の前で
- 2 短期留学(北京サマーセミナー)のクラスメイトと万里の長城で
- 3 卒業研究で、ウランバートル郊外にて居住環境のヒアリング調査
- 4 建設学科榑谷研究室の仲間(ウランバートルの展望台で 右端が筆者)



## Sharing memories

大学院医歯学総合研究科口腔生命科学専攻 Paulo Henrique Luiz de Freitas

It's been a great experience. That being said, I shall start this piece of writing.

I was named Paulo Henrique by a loving family in Brazil. My mother wanted me to be a Catholic priest, but sure she's happy that I'll be a PhD in Oral Life Sciences by this October.

I was asked to write to the newcomers, a welcome message, advice, all that jazz. You are all welcome, and you will feel that as the days go by in charming Niigata, a city that is just about the right size. I am not in a position to give advice to anyone; I will, instead, share some of my stories hoping that all of you enjoy your own experiences here, and ultimately have stories to tell someone else when the time comes.

### The "explorer" phase, and the realization that I had to be able to communicate effectively in Japanese

Oh, boy, the explorer phase! It's like being born again, or visiting another planet, or something equally fresh and exciting. When I was younger, I would think "How would it be if I were illiterate and couldn't read anything, but could see things and understand that they were words, and that they should mean something?". Well, I have had my little taste of that by now. Yep, I am talking about the kanji. Anyway, that thought came back to me as I was searching for a branch of the City Office somewhere in Uchino, so that I could get a document that would prove my being in Japan, and would finally get myself a mobile phone. I had been given the directions roughly, but it was the explorer phase, so who cares? But I had been searching for a while, and I felt that I had to ask someone. I tried to put the sentence together in my head, but couldn't. My vocabulary was limited to a couple of words, my grammar one of a newborn. Then, the redemption: a banner advertising an English language school. I stepped inside and this lady came, eyes wide open scanning me out head to toe: I must really be in another planet, I thought. I then asked for a teacher and she gave me a displeased look pointing me to the door. Rude. Shocking. But worse than that: the absolute powerlessness of not being able to communicate. After 4 years, I still don't know where on earth the Uchino City Office is, but I'm sure now I can make my way there if necessary.

### The "Why don't they...?" phase, and the realization that if anyone had to adapt to something, it was me to the Japanese way of life

Explorer phase gone, then comes the next: why don't they speak in English? Why don't they get rid of these thousands of kanji? Why don't they stop sitting on the floor? Why don't they have 24/7 ATMs? Then I had the brilliant idea of asking these questions to a Japanese dude, to which he replied, "Because they have never been told that they should, and even if they were, they wouldn't." Complaining and

blaming someone else for your problems is natural. Thou who have never sinned shall throw the first stone. It took me some time to realize that I was a guest, and should therefore volunteer to do the dishes after the party...

### The "school-home-school-home-conference-home" phase and the sweet fruits of little efforts

Sure, I had my moments. Met people from all over the world. Made friends of all religions. Tried new sports (actually complained about the snowfalls until I rode my first slope on a snowboard - now I am bummed when we have no snow on the weekends!). Ran (and still do) a monthly musical event. I have seen my hometown's soccer team be the Fifa's World Champion in Yokohama, 2006. I have been to Tokyo, Osaka, Sendai, Nagano, Hannou, Miura, Fukuoka, Hiroshima, Fukushima, Tokushima, Nagoya, Kobe, Honolulu, New York, Boston, Philadelphia (had my passport stolen there, so it's not a good memory indeed), Sydney and Brisbane. I attended conferences and presented my research work. I was fully reimbursed for some of these trips. Easy life, eh? Try spending 12-14 hours in your desk and losing all the work when the computer cracks. Or having your girlfriend preparing you an awesome dinner, red wine and the works, and you have to go back to the lab 30 minutes later because your supervisor "asked" you to do so. Thousands of documents and forms of all sorts, entirely in Japanese (of course). Deadlines and failed experiments. Bad reagents. Exhausted grants. Prejudice and contempt. All of that plus being in the whirlwind of a mini political plot. That all happened to me. And then you ask me:

### Was it worth?

Yep.

### Would you do it again?

Fully.

But not without my family's and friends' support, good mental and physical health, love and a goal in mind. And I would definitely study a little bit more of Japanese.

Be welcome. Enjoy your time in Niigata, Urasa, Joetsu, or any other place to where you might be going. And gather good stories, for they are the things that really last.

It's been a great experience. That being said, I shall end this piece of writing.



1 Relaxing in a karaoke after the Japanese Intensive Course Final Speech. (I am to one at the far right)

2 What is going on here?

3 Dressed up for Niigata Matsuri's Bandai Parade. (I am the one at the far left)

4 Poster sessions at the Annual Meeting of the Japanese Society for Histomorphometry in Niigata. (I am the one with the tan suit)

5 Our lab's trip to Yamagata. (I am the one wearing sunglasses. The one standing, far right, is the head of Niigata University's Center for Transdisciplinary Research, Norio Amizuka)

# 「眠れない、落ちつかない、やる気が出ない」どこに相談すればいい？

保健管理センター講師 村山 賢一

大学生活のスタートは順調ですか？ 喜ばしいはずの大学生活も、最初は変化にとまどいを感じる方もおられるでしょう。地元から初めて離れて自由さを感じると同時に、心細さや不便さを感じる方もおられるかもしれません。

大学生活でこれから皆さんが達成されようとしていることは、これまで求められていたことと大きく異なり、身につける内容は、より実際的あるいは先進的な内容となり、個人としての責任も重くなってきます。同時にやらなければいけないことがいくつも生じてくることもあります。いろいろ重なるとストレスに感じ、場合によっては体調を崩し、勉学に差し支えが出る場合もあります。

保健管理センターでは様々な悩みに関して相談を受けていますが、よく聞かれる相談内容について挙げてみます。「友人や親、教員など周囲の人とうまくいかない」「初めての一人暮らしに慣れず落ち着かない」など対人関係や環境の変化にうまく適応できないこと、「気分が沈んで元気が出ない、他人と会いたくなくて学校に行けない」など気分の不調、「寝付きが悪い、眠りが浅い、朝早く目覚める」など睡眠の問題、「つい過食してしまう」など食生活の問題、あるいは「大学で自分のやりたいことがみつからない」「自分には何が向いているのだろう」などの生き方についての問題など様々ですが、特別なことでなく、どなたでも持たれるような内容ばかりです。1回もしくは数回の相談で問題が解決するか軽減する人がほとんどですので1人で抱え込まずに相談することが大切です。

しかし、時には自分でも気づかないうちに「うつ病」などの心の病気にかかっている場合もあります。ゆううつな気分が続いたり、物事に興味や関心を持たないために学業やその他の活動に支障をきたしているような場合にはうつ病の可能性があるので、早めにご相談ください。

メンタルヘルス相談は予約制になっています。まずは気軽に来所あるいは電話をしてみてください。個人の秘密は守られ、相談内容および来所の有無に関して他にもれることはありません。身体の健康と同様に心の健康にも配慮し、気軽に保健管理センターを利用して下さい。



- 保健管理センター（五十嵐地区） Tel.025-262-6244 Fax.025-262-7517
- 旭町分室（旭町地区） Tel.025-227-2040 Fax.025-227-0748
- 利用時間／8:30-17:00(土・日曜、休日は除く)

# CAMPUS INFORMATION

## 第49回黎明祭 2008年4月19日(土)

### ～新入生の皆さんへ～

ご入学おめでとうございます。

大学でやりたいことはきまっていますか？ 大学で大きく変わる事は、先生の指導なく、すべて自分たちで活動していくことだと思います。その中で僕はたくさんの経験を経て、すばらしい仲間と出会いました。

楽しい大学生活にするために、部活動にはいってみてはどうでしょうか？ 新潟大学には運動系、文化系にかかわらず100を超える部活動、サークルがあります。

部活動を知る機会として、新潟大学では新入生を歓迎した黎明祭というイベントがあります。今年は4月19日に開催され、さまざまな催しを行います！

教室では各部活を紹介、野外ステージでは音楽系サークルとお笑いゲスのライブ、さらに会場内では豚汁の無料配布を行います。

黎明祭ではさまざまな部活動が皆さんをおまちしています。ぜひ当日はキャンパスに足を向けているいろいろな団体の活動に接してみてください。

学友会総務部委員長 高田 真 裕



### 第49回 黎明祭プログラム予定

プログラム／時間／会場

**部活動紹介ブース**  
●10:00～17:00 ●総合教育研究棟

**音楽系サークルライブ**  
●第1学生食堂前広場特設ステージ  
(雨天の場合、大会館)

**お笑いステージ**  
●11:00～12:00  
●第1学生食堂前広場特設ステージ  
(雨天の場合、総合教育研究棟E棟260)

**クラブ・サークルアピールタイム**  
●12:00～16:00 ●総合教育研究棟

**豚汁無料サービス**  
●11:00～ なくなり次第終了  
●第1学生食堂前広場



## 学務部からのお知らせ

### 大学からの連絡事項は、次の方法で行います。

- ①各学部・研究科及び学務部の「**掲示板**」
- ②学務情報システムの「**連絡通知**」
- ③学務情報システムの「**電子メール**」

必ず1日1回は、「**掲示板**」及び「**連絡通知**」を確認する習慣を身につけましょう。  
※学務情報システムの「**連絡通知**」や「**電子メール**」は、携帯電話からも確認できます。

「**連絡通知**」及び「**電子メール**」は、学部等の掲示板に貼り出されている掲示物の全てが掲示されるわけではありません。  
各学部等の掲示板には、重要な情報が掲示されますので、掲示情報を見落とすことがないように十分に注意してください。

### インターネット利用上の注意とマナー

#### マナー

- ネット上での無責任な行動は慎みましょう。
- インターネットの世界は大変便利な通信手段や情報発信源ですが、無責任に人を誹謗・中傷する舞台にもなりうる世界でもあることを認識してください。
- 不特定多数の人々がインターネットを利用することを念頭において、ネット上での自分の言動には責任を持って対応してください。

#### 注意事項

- 怪しいサイトには絶対に入ってはいけません。
- 個人情報をネット上に公開するときは注意しましょう。ネット上にある写真や絵、著作物は、著作権法上の対象になっていることを認識してください。
- 肖像権やプライバシーを侵害してはいけません。

### 自転車マナー

近年、自転車の駐輪マナーの悪さが問題となっています。歩道上や道路上への駐輪は、歩行者や自転車等の通行の妨げになりますので、絶対にやめてください。  
また、自転車通学をする場合は、次のマナーを守ってください。

- 自転車は決められた場所（駐輪場）に置きましょう。
- 盗難防止のため、自転車には鍵をかけましょう。
- 自転車は、必ず防犯登録をしましょう。
- 自転車を構内に放置してはいけません。
- 夜間の無灯火は大変危険です。早めにライトをつけましょう。



## キャンパス周辺 MAP

### 旭町キャンパス



# キャンパス周辺 MAP

## 五十嵐キャンパス



- 凡例
- コンビニ
  - 食事&喫茶
  - 居酒屋
  - パン・弁当屋etc
  - レジャー
  - その他のお店
  - 医療機関
  - 郵便局
  - 銀行

この地図は2008年3月現在のものです